



平成26年2月22日（土）恵那市立上矢作小学校にて 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の 「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-Do）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらう講演会や体験実験を行っています。

昨年に引き続き、岡本光美先生のご尽力により、平成26年2月22日（土）、恵那市立上矢作小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容で開催しました。当日は、岡本光美先生、恵那市立上矢作小学校 学校薬剤師の川路緑先生をはじめ、学校関係者のご協力により、小学生 86 名（1年生：10名、2年生：12名、3年生：12名、4年生：15名、5年生：18名、6年生：19名）、ご父兄 19名が参加しました。講義と体験実験は大変分かり易かったと大好評でした。

恵那市立上矢作小学校における「くすり教室」

日時：平成26年2月22日（土）10時30分～12時20分

場所：恵那市立上矢作小学校 メロディールーム、家庭科室

内容

・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、名城大学薬学部の学部生がスライドを使ってわかりやすく説明するため、Q&A方式で小学生が答える参加型で行いました。たくさんの小学生が元気よく挙手し、大変にぎやかとなりました。

・「体験実験」

小学生は学年毎に18グループ（1グループ3～7名）、ご父兄は2グループ（1グループ9～10名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、NPO J-Do の鍋島俊隆理事長を中心に、毛利彰宏会員および間宮隆吉会員、名城大学薬学部と愛知学院大学薬学部の学部生が補助しながら、体験実験を行いました。

また、保護者の方も小学生とは別のグループで体験実験を行いました。

<実験項目>

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. 水がなくても飲める錠剤があるのを知ってる？
4. 「ざやく」って何度で溶けるんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあるのを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

制作：名城大学薬学部病態解析学 I

（石原歩実、毛利彰宏、野田幸裕）

監修：名城大学薬学部 地域医療

薬学局講座

NPO J-Do（鍋島俊隆）

